

科目名	レクリエーション演習 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	前期			
担当者名	弘中 陽子 他	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修 公認障がい者指導員資格 必修 保育士資格 選択				
<b>授業概要</b> レクリエーションの理論を踏まえたうえで、ホスピタリートレーニングやアイスブレーキング等の体験を通して、レクリエーション支援者としてより良いコミュニケーションを築くための方法について理解する。また、様々なレクリエーション活動について基本的な展開方法を体験的に学び、グループ活動を行う。							
<b>到達目標</b> ○よりよい信頼関係を築くために必要な態度・行動を習得する。 ○グループ活動において相互作用を引き出し、活用する手法を理解する。 ○様々なレクリエーション活動の体験を通して、レクリエーション活動の楽しみを理解しグループで共有することができる。			<b>成績評価方法</b> ・遊びのノート ・グループワーク ・授業態度・授業参加度 総合評価とする				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			40
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○	○	10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション							
遊びノートづくりについて							
2) 信頼関係づくりの方法①							
(あたたかくもてなすという意識と配慮)							
3) 信頼関係づくりの方法②				グループワーク			
(対象者と意思疎通を促進する技術)							

4) 良好な集団づくりの方法① (アイスブレイキング)	
5) 良好な集団づくりの方法② (アイスブレイキングの効果をも高める支援技術)	グループワーク
6) レクリエーション活動の展開方法①	
7) レクリエーション活動の展開方法②	
8) レクリエーション活動の展開方法③	
9) 乳幼児に合わせたレクリエーション活動の体験①	
10) 乳幼児に合わせたレクリエーション活動の体験②	
11) 児童・障がい児(者)に合わせたレクリエーション活動の体験① (パラ・スポーツレクへの参加)	
12) 児童・障がい児(者)に合わせたレクリエーション活動の体験② (パラ・スポーツレクのふりかえり・障害に応じたスポーツの工夫)	グループワーク
13) レクリエーション支援の実施① (スポーツ・レク大会への参加)	グループ活動
14) レクリエーション支援の実施② (スポーツ・レク大会への参加)	グループ活動
15) レクリエーション、及び障がい者スポーツ指導員資格制度について 授業のまとめ・授業評価アンケート	
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> <li>できるだけ様々な遊びやレクリエーション活動に興味を持ち、積極的に取り組んでみましょう。</li> </ul>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料配布</li> <li>「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」 (日本レクリエーション協会) ※レク・インストラクター資格取得希望者のみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レクリエーション概論</li> <li>レクリエーション演習Ⅱ</li> <li>レクリエーション実習</li> </ul>
備考	
<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の出来る服装、室内シューズ、髪は束ねる等支援者としてのふさわしい身だしなみを各自心掛けてください。</li> <li>遊びのノートを1冊作成します。詳細は、授業内で説明します。尚、このノートは評価対象です。</li> </ul> <p>【オフィスアワー】 弘中 陽子 hironaka@ube-c.ac.jp</p>	